

事務事業名	園芸団地整備推進支援事業			担当	産業環境部 農政課 園芸畜産係		
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり		電話番号	0285-83-8139		
施策名	1	農業の振興		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	真岡市農産物販売交流施設「いがしら」冬季農作物安定供給対策パイプハウス整備事業費補助金交付要綱				<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 年度～）		
予算科目	1.一般会計	6.農林水産業費	1.農業費	4.園芸特産費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（平成21年度～平成23年度）		
事業概要	園芸団地整備は、真岡市農産物販売交流施設「いがしら」（あく里っ娘）において冬季農産物の不足を補うために、パイプハウス整備者に対し補助をするものであります。対象は、「いがしら」に出荷している井頭直売部会員で、補助率は、ハウス1棟当たり、1/3以内で、事業費上限は50万円。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 24年度実績 ・ハウス1棟分の施設整備補助 25年度計画 ・事業終了	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	
ア 補助金			804	953	166			
イ								
ウ								
エ								
オ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ・井頭直売部会員（直売出荷者）	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	
ア 直売施設出荷農家			166	159	179			
イ								
ウ								
エ								
オ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・冬季作物の不足を補い、年間を通じて農作物の安定供給を図る。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	
ア 整備農家数			8	4	1			
イ 整備面積			1,377	1,873	390			
ウ								
エ								
オ								
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） ・豊富な品揃えを確保し、直売施設の販売額の増加を促進する。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	
ア 直売施設販売額			168,419	180,709	185,591			
イ 来場者数			143,658	143,810	141,278			
ウ								
エ								
オ								
(2) 総事業費の推移		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	804	953	166	0	0
	事業費計(A)		千円	804	953	166	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	0	0
		延べ業務時間	時間	16	16	16	0	0
		人件費計(B)	千円	65	68	68	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	869	1,021	234	0	0	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	平成20年4月に農産物販売交流施設「いがしら」（あく里っ娘）をオープンしたが、消費者から冬季の品揃えが少ないので、豊富にしてほしいとの要望が多数あった。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	直売施設及び観光いちご園の整備が終わり、来場者数も増えている。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	直売施設においては、来場者から豊富な品揃えが望まれている。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 農作物の安定供給を図ることは、農産物販売交流施設の販売促進につながり、市の施策と結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 年間を通じて農作物の安定供給を図ることは、農産物販売交流施設の販売促進につながり、公共関与することは、妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 井頭直売部会員を対象にパイプハウス整備を支援することは、農産物の安定供給につながり、妥当である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 補助を希望する全ての会員に実施できており、向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 3年間の期限付き事業であり、影響はない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最小限の補助であり、削減余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか？ (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最小限の人件費であり、削減余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 一部補助で生産者も応分の負担をしており、公正公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							